

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	24-084	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Sociodemographic and Health Factors of the Alcohol Treatment-seeking Population in New South Wales, Australia オーストラリア・ニューサウスウェールズ州におけるアルコール治療希望者の社会人口学および健康関連要因		
執筆者		
Heijstee N, Black E, Black E, Demirkol A, Mammen K, Mills L, Deacon R, Ezard N, Montebello M, Reid D, Bruno R, Shakeshaft A, Siefried KJ, Farrell M, Lintzeris N.		
掲載誌		
J Addict Med. 2024 Nov-Dec 01;18(6):619-627. doi: 10.1097/ADM.0000000000001311.		
キーワード	PMID	
人口統計学、アルコール使用、健康、集団特性、物質関連障害	38828937	
要旨		
<p>背景: アルコール使用に関連する因子は集団レベルで研究されているが、オーストラリア・ニューサウスウェールズ (NSW) 州におけるアルコールおよびその他の薬物 (AOD) 治療を希望する人々の特徴に関する記述は限られている。本研究は、このギャップを埋めるため、NSW 州の AOD 治療希望集団における社会人口統計学および健康関連の特徴を分析した。</p> <p>方法: 2016 年から 2019 年にかけて、NSW 州の 6 つの行政保健地区における公的アルコール・薬物 (AOD) 治療サービス (カウンセリングから外来/入院離脱管理までのサービスを提供) を利用した 14,287 名を対象に、薬物使用、健康評価、社会人口統計学的因子に関する自己報告式調査ツールである Australian Treatment Outcomes Profile (ATOP) からデータを収集した。各要因とアルコール摂取量との関連を明らかにするため、線形回帰分析、および多重ロジスティック回帰分析を実施した。</p> <p>結果: アルコール治療を希望した患者 5,929 名 (年齢中央値 44 歳、男性 65%) について分析した。うち、5,460 名についてアルコール摂取に関するデータが得られ、アルコール摂取量を標準ドリンク (STD: 1 STD=エタノール 10g) に換算し解析した結果、調査前 28 日間のアルコール平均消費量は 311 STD (エタノール 3,110g)、1 回あたり 15 STD (エタノール 150g) であった。男性および調査前 28 日以内の暴力行為者/注射薬物使用歴のある者においてはアルコール摂取量が高く、5 歳未満の子どもを養育している者や、健康状態評価が中央値より高い者では、アルコール摂取量の低さと有意な関連が認められた。</p> <p>結論: 本研究は、NSW 州の公的 AOD 治療希望者の特徴を明らかにし、アルコール消費量と社会人口学的要因、健康評価との関連を示した。本研究の結果は、アルコール使用の治療を受ける人々に対して、多層的な評価および包括的な介入の必要性を示唆している。今後の研究では、治療へのアクセスを妨げる要因についても検討していく必要がある。</p>		